The Lepidopterological Society of Japan



# イシガキシロチョウの学名を訂正す

村　山　修　一
大阪市茨城市新庄 3-6

# Correction to the scientific name of an *Appias* species from Ishigaki Is., Ryukyus.

SHÛ-ITI MURAYAMA

私はさきに本紙 Vol. 21, No. 3 & 4 にのせた「石垣島で採集された蝶類若干種について」の中で未記録種イシガキシロチョウを *Appias celestina* 種に属するものとして記載したが，その後，故磐瀬太郎氏や本野晃氏の御援助をえて再吟味した結果，これは *A. celestina* 種でなく *maria* 種であることを確認したのでここに訂正し改めて記載し直しておきたい．

*Appias maria kabiraensis* MURAYAMA (**comb. nov.**)=*Appias celestina kabiraensis* MURAYAMA

*Appias maria* は Philippines からしられた種で，FRUHSTORFER (1910) は SEITZ で極めて稀といっているが，実際はそれほどの稀品でもないのであろう．原亜種 *maria* は Luzon 島，亜種 *dolorosa* FRUHST. は Bohol 及び Bazilan 島に，亜種 *adorabilis* FRUHST. は Mindanao 島に分布するが，地理的にみても Luzon 島亜種に近いことが考えられる．しかし本野氏御採集の Luzon 島の♀と石垣島の♀標本を比較すると，(1) 前翅表面第2室の白色部が黒い外縁帯に突出する程度が石垣島産の方が著しい．(2) 前翅表面 3, 5, 6, 7 各室の黒帯中の白紋は石垣島産がより発達し，しかも Luzon 産では黄色味をおびているが石垣島産ではそのようなことはない．(3) 裏面についても (1) (2) と同様のことがいえる．

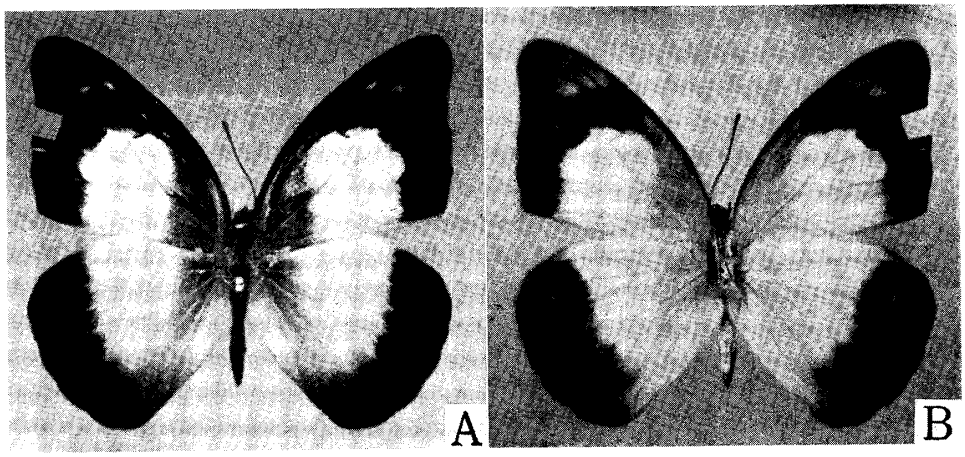


Fig. 1. *Appias maria maria* SEMPER, ♂
(Mt. Makiling, Luzon, 4. i. 1970, forewing length 28mm) Left, upperside; Right, underside.

以上によりまだ比較個体数は少いが *kabiraensis* は八重山群島亜種名として残しておきたいと思う．なお *maria* 種は *melania*, *albina* グループや *Saletara panda* と異り，♂♀の外観が似ている点で非常に特異な種であり，フィリッピン特産種が八重山群島にまで分布することは，両地の生物相の深い関係を一段と強く物語るものである．

終りに *maria* の原記載や参考材料を与えられた上記両氏に厚く御礼申上げたい．

NII-Electronic Library Service

The Lepidopterological Society of Japan



**Résumé**

*Appias maria kabiraensis* MURAYAMA (**comb. nov.**) ♀=*A. celestina kabiraensis* MURAYAMA ♀ Tyō to Ga Vol. 21, No. 3 & 4, 1970.

Race *kabiraensis* MURAYAMA of Ishigaki Is., Ryukyus differs from the original race of Luzon in the following points. (1) Forewing, white area of interspace 2 projects more conspicuously in the marginal black band. (2) Forewing, white markings of interspaces 3, 5, 6, 7, in the black band more developed, but not yellowish as in the original race.

---

# ヤマトシジミの黒化異常型

洲崎一彦

大阪府枚方市香里が丘10の3728 新香里病院宿舎204

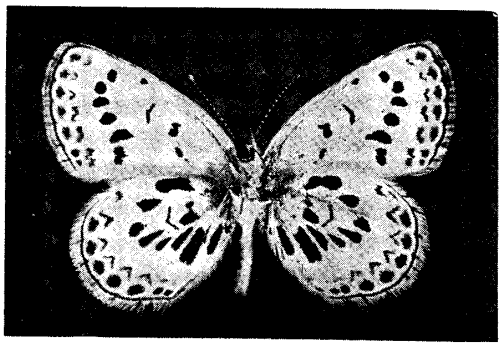

Fig. 1. *Zizeeria maha argia* MÉNÉTRIÈS ヤマトシジミ，異常型 ♂.

ヤマトシジミ *Zizeeria maha argia* MÉNÉTRIÈS の裏面黒斑が発達した異常型は，さほど珍しいものではないが，筆者も自宅付近で採集することができたので報告しておく．

1♂，大阪府枚方市香里園桜木町付近，洲崎一彦採集

なお，本種を同定され発表をすすめられた若林守男氏に感謝する．

## 訂　正

前号（第22巻，第1・2号）p.13,「緑岳におけるカラフトルリシジミの発見」の記事の1行目，カラフトルリシジミの学名が編集者の手違いで種の学名 *Vaciniina optilete* KNOCH で示されていますが，これは亜種の学名 *Vaciiniina optilete daisetsuzana* MATSUMURA とすべきですので訂正します．

---

日本鱗翅学会会報 "蝶と蛾"
第22巻 第3・4号
日本鱗翅学会発行
本部 大阪市東区今橋3丁目18 緒方病院内（〒541）
振替口座 京都15914番 電話大阪(231)3255代
編集者 三枝豊平・中西明徳・嶌 洪・矢田 脩
（福岡市中央区六本松4丁目九大教養部生物学教室）（〒810）
印刷所 秀巧社印刷株式会社
1971年12月31日 発行

TYŌ TO GA
(Trans. Lep. Soc. Jap.)
Vol. 22, No. 3 & 4
published by
The Lepidopterological Society of Japan
c/o OGATA HOSPITAL, Imabashi 3-18,
Higashiku, Osaka, Japan.
31 December 1971

NII-Electronic Library Service